



礼文高校の校訓のひとつである「進取」。
自分から進んで物事をするその姿勢を
カリキュラムに色濃く取り入れ、
実体験を通した授業を積極的に行っています。



礼文ならではの**特色あるカリキュラム**で、学ぶ意欲を刺激。

フィールドワーク

海に囲まれた礼文島ならではの釣りや、希少な高山植物を有する礼文のトレッキング等、アウトドアに関するアクティビティの学習や町内遺跡から縄文文化やオホーツク文化について学びます。その他にも、遺跡についての発掘調査や出前授業なども予定しています。



高山植物

礼文に生育する高山植物群を中心とした植物の観察、実験、実習を通して自然保護に対する関心を持ち、礼文の自然について広く学びます。その知識を活かして、希少な草花を楽しみに訪れる観光客へ高山植物や島の環境についてボランティアガイド(3年生)を行い、礼文島の魅力を発信します。



自然と観光ガイド

礼文の自然を観察・実験をし、身近な事物・現象に対して探究を行い、データを分析して自ら課題解決を提案できる力を身につけます。得た知識から、ガイドとして伝えるための心得や新たな観光資源について考え、日本語だけでなく英語で発信する技術を学びます。



生活産業基礎

身近な衣食住、ヒューマンサービスに関する生活産業や職業への関心を高め、必要な知識と技術を習得します。礼文の主な産業である、水産業と観光業を通して生活を支える産業とは何か、職業観やライフスタイルの変化について学びます。



観光大使活動

礼文島観光協会から観光大使の委嘱を受け、見学旅行先で礼文島のPRを行います。礼文島のパンフレットや昆布、高山植物の種等を配布するなど、礼文島の自然の豊かさを広める活動です。事前に地域の自然や産業について調べることで、より深く礼文の資源について学ぶことができます。

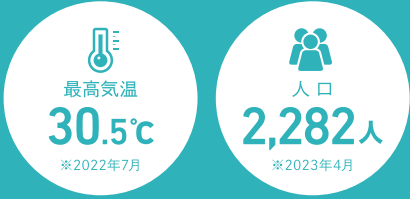
北方食文化の研究と開発

礼文に伝わる食文化を理解するため、日本や地域、世界の食材・食文化を学び、豊かな海産物資源を活かした新たな土産物品や御当地メニューの開発に取り組みます。礼文の資源と島外とのつながりを生み出す学びの場です。



太古の自然が残る 日本最北の離島、礼文島。

北海道北端の稚内市より西方59kmの日本海に位置する離島、礼文島。アイヌ語の「レブンシリ=沖の島」が語源で、北海道では稀にみる澄んだブルーの海を有した、人口約2,400人の小さな島です。日本海側のため対馬暖流の影響を受け、内陸の気候と比べると比較的温暖です。また、オホーツク海から流入する流氷の影響もほとんどなく、夏期は冷涼で冬期は温暖となり、本州ほど四季の区別のない気候です。



高山植物が咲き誇る花の浮島

春から秋にかけて、およそ300種類の花々が咲き乱れ「花の浮島」とも呼ばれています。本州では約2,000mの山岳地帯でないと見られない希少な高山植物が海拔0mから見ることができ、ここでしか見られない固有種も多数存在する、珍しい島です。

古代のロマン溢れる最北の縄文遺跡

これまでに55ヶ所もの遺跡が見つかった礼文。国の重要文化財に指定された縄文の出土品、北海道ならではのオホーツク文化やアイヌ文化の遺跡に接することができるのは礼文だからこそ。数千年前から人々が行き交う北の島のロマンがあります。



3年間の段階的な教育カリキュラム

	1年	2年	3年
礼文島の研究	高山植物	生活産業基礎	地域水産基礎 北方食文化の研究と開発 フィールドワーク
地域と協働した観光地域づくり			自然と観光ガイド
英語力を活かした情報発信	海外交流事業 ✈️ロサンゼルス留学(2週間)	ALTを活用した外国語授業の充実 WebやSNS、動画サイト等による情報発信	

※ は選択授業